

# 大阪大学 日本語・日本文化国際フォーラム2015

## 北アメリカにおける 日本語教育の現場から

日時：2015年3月13日(金) 10:30~17:10 [受付開始 10:00]

場所：大阪大学箕面キャンパス 日本語日本文化教育センター多目的ホール  
[<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/annai/about/map/minoh.html>]

### 基調講演

長谷川 葉子 (カリフォルニア大学バークレー校)  
「日本語学と日本語教育」

### 実践報告

小室リー 郁子 (トロント大学)  
「トロント大学における日本語教育 —カナダの日本語教育を取り巻く環境と現状を踏まえて—」

松田 いずみ (ワシントン大学)  
「ワシントン大学における日本語教育の現状と実践」

富山 佳子 (スタンフォード大学)  
「スタンフォード大学における日本語教育 —ACTFLガイドラインに基づいて—」

高取 由紀 (ジョージア州立大学)  
「ジョージア州立大学における現実路線の日本語教育 —年間70時間なら何を優先するか?—」

〈主催〉大阪大学日本語日本文化教育センター

〈共催〉大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻

## プログラム概要

総合司会 加藤 均 (大阪大学日本語日本文化教育センター)

10:00～ 受付開始

10:30～10:40 開会挨拶 岩井 康雄 (大阪大学日本語日本文化教育センター長)

10:40～11:40 基調講演 長谷川 葉子 (カリフォルニア大学バークレー校)  
「日本語学と日本語教育」

実践報告の部(前半) 発表40分 質疑応答15分

司会 小森 万里 (大阪大学日本語日本文化教育センター)

11:45～12:40 発表(1) 小室リー 郁子 (トロント大学)

「トロント大学における日本語教育」

—カナダの日本語教育を取り巻く環境と現状を踏まえて—

12:40～13:50 〈昼食休憩〉

13:50～14:45 発表(2) 松田 いずみ (ワシントン大学)

「ワシントン大学における日本語教育の現状と実践」

14:45～15:00 〈休憩〉

実践報告の部(後半) 発表40分 質疑応答15分

司会 大和 祐子 (大阪大学日本語日本文化教育センター)

15:00～15:55 発表(3) 富山 佳子 (スタンフォード大学)

「スタンフォード大学における日本語教育」

—ACTFLガイドラインに基づいて—

15:55～16:10 〈休憩〉

16:10～17:05 発表(4) 高取 由紀 (ジョージア州立大学)

「ジョージア州立大学における現実路線の日本語教育」

—年間70時間なら何を優先するか?—

17:05～17:10 閉会挨拶 小矢野 哲夫 (大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻長)

〈17:30～ 懇親会(会費1,000円 当日受付)〉

〈基調講演者 紹介〉 はせがわ ようこ 長谷川 葉子 (カリフォルニア大学バークレー校東アジア言語・文化学部教授)

1992年、カリフォルニア大学バークレー校にて言語学博士号を取得。1993年に同校助教授に着任、以後、日本語学を担当する傍ら、日本語プログラム・コーディネーターをつとめる。現在は、同校教授。専門は日本語学、認知言語学、語用論、音声学。

近著には、*Japanese: A Linguistic Introduction* (Cambridge University Press, 2014)、*The Routledge Course in Japanese Translation* (Routledge, 2011)、*Soliloquy in Japanese and English* (John Benjamins, 2010)、『日本語から見た日本人—主体性の言語学—』(開拓社, 2010)、*Elementary Japanese* (Tuttle, 2005-2006)等がある。